

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2024

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2024 SKIP CITY INTERNATIONAL D-Cinema FESTIVAL 2024

会 期：(スクリーン上映)2024年7月13日(土)～21日(日) (オンライン配信)2024年7月20日(土)～24日(水)
会 場：SKIPシティ映像ホール／多目的ホール ほか
主 催：埼玉県／川口市／川口商工会議所／SKIPシティ国際映画祭実行委員会
後 援：総務省／外務省／経済産業省／文化庁／(一社)日本映画製作者連盟／(一社)映画産業団体連合会／
(公財)ユニジャパン／(一社)外国映画輸入配給協会／(公社)映像文化製作者連盟／
(一社)日本映画テレビ技術協会／(一社)日本映画テレビプロデューサー協会／(協組)日本映画監督協会／
(協組)日本映画撮影監督協会／(協組)日本映画製作者協会／全国興行生活衛生同業組合連合会／
生活衛生同業組合埼玉県映画協会／(一社)デジタルコンテンツ協会／(特非)映像産業振興機構／NHK／
エフエムナックファイブ／埼玉新聞社／駐日イタリア大使館／駐日ウズベキスタン共和国大使館／
ドイツ連邦共和国大使館／ノルウェー大使館／ハンガリー大使館／リスト・ハンガリー文化センター／
在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ
対 象：一般、映画関係者
公式サイト URL：<https://www.skipcity-dcf.jp/>

総来場者数(参加数)：(スクリーン上映)7,046人、(オンライン配信)3,491回
出展参加国と地域数：102の国と地域
プレス社数：60社

■開催内容

第21回を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、ハイブリッド開催を継続し、スクリーン上映を7月13日(土)～21日(日)の9日間、オンライン配信を7月20日(土)～24日(水)の5日間にわたり開催した。

開催初日、オープニング作品として、串田壮史監督の『初級演技レッスン』をワールド・プレミアで上映。串田監督は2020年に『写真の女』で本映画祭SKIPシティアワードを受賞。2023年『マイマザーズアイズ』が2作品連続で国際コンペティションにノミネート。主演は2011年の本映画祭短編部門で奨励賞を受賞した『ケンとカズ』主演の毎熊克哉、2014年の本映画祭短編部門にノミネートされた『時ノカケラ』主演の大西礼芳が共演。

上映前には毎熊克哉、大西礼芳、岩田奏、串田壮史監督が登壇し、映画祭の幕開けを華やかに飾った。

本映画祭の中核であるコンペティションは、国際コンペティション、国内コンペティション(長編部門、短編部門)で構成されており、本年は102の国と地域から、1,201本の応募があり、その中から厳正な審査を経て、国際コンペティション10本、国内コンペティション長編部門6本、同短編部門8本を上映。会期中、国内外から監督、プロデューサー等ゲストも多数来場し、Q&Aセッションやトークイベントを行ったほか、来日の叶わなかった海外ゲストのインタビュー動画を上映するなど、制作者と観客との交流の場を設け、作品の理解を深めるとともに、映画祭を盛り上げた。国際コンペティションの審査委員長には映画監督の白石和彌氏、国内コンペティションの審査委員長には映画監督の横浜聡子氏を迎え、クロージング・セレモニーで各賞の発表・授与を行った。

国際コンペティションでは、最優秀作品賞(グランプリ)『日曜日』(ショキール・コリコヴ監督／ウズベキスタン)監督賞の『連れ去り児』(カラン・テージパル監督／インド)は観客賞とのW受賞、審査員特別賞は『嬉々な生活』(谷口慈彦監督／日本)、谷口監督は国際コンペティション、国内コンペティションを通じた全ての日本作品を対象に、今後の長編映画制作に可能性を感じる監督に対して授与するSKIPシティアワードのW受賞。

国内コンペティションでは、長編部門の優秀作品賞は『折にふれて』(村田陽奈監督)観客賞には『雨花蓮歌』(朴正一監督)、短編部門の優秀作品賞は『はなとこと』(田之上裕美監督)観客賞には『立てば転ぶ』(細井じゅん監督)が受賞した。



パートナーイベント

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2024

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2024 SKIP CITY INTERNATIONAL D-Cinema FESTIVAL 2024

■ 2024年度の新規取り組みとその成果・特色など

特集「商業映画監督への道」と題し、国際コンペティション審査委員長の白石和彌監督、国内コンペティション審査委員長の横浜聡子監督にご登壇いただき、おふたりの監督作品『止められるか、俺たちを』（白石監督）、『ウルトラミラクルラブストーリー』（横浜監督）を上映。上映後、監督より若手映画監督に向けて商業映画監督としての経験についてお話しいただいた。「みんなが観たい上映作品」ではアンケートの上位4作品『スタンド・バイ・ミー』『ショーシャンクの空に』『ドライブ・マイカー』『トップガン マーヴェリック』を上映、『トップガン マーヴェリック』上映後には映画字幕翻訳者 戸田奈津子さんをお招きし、「映画字幕翻訳の楽しみ方」についてお話しいただいた。

■ 他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

第37回東京国際映画祭との提携企画として、SKIPシティアワードと国祭コンペティション審査員特別賞をダブル受賞した『嬉々な生活』を上映。監督・出演者によるQ&Aセッションも実施。

また、開催時には川口商工会議所による「Dシネマルシェ」にて映画祭のPRイベントを開催。

